



# 眠れる 大凶書館

東方projectのパチンコリー・ノーレッジが  
シヨタ淫魔に睡眠姦されちゃうCG集

皆さんこんにちは。  
僕は名もなき子悪魔です。  
今本を読んでいるこの方、パチュリー様に召喚されて  
紅魔館にある図書館で司書をしたりパチュリー様の  
身の回りのお世話をさせていただいています。

他に何かご用はございませんか？  
パチュリー様

ん…特にないわ  
今は下がってていいわよ

普段は二人でお世話をさせていただいているのですが  
先輩の「小悪魔さん」が魔界に里帰りしているので  
今は僕一人です。  
そう、広い図書館に僕とパチュリー様の二人きり…



僕、召喚された時からパチュリー様の事が好きだったんです。主に肉体的な意味で……僕こう見えて淫魔のはしくれなんです。パチュリー様みたいな豊満な肉体はとて魅力的です……毎晩、あのゆったりとした服の下に隠されている豊満な肉体を想像しておち○ちんが擦り切れるまで扱く日々です……でも、それももう終わり

……

きつと服の下は  
こんな感じなんだろうなあ……

たぶんに

たぶんに

今お出ししている紅茶には強力な睡眠作用がある植物を煎じてあるのです。勿論味も工夫していつもの紅茶と変わらないうようにしてあります。これでこのしかめっ面のむちむち魔女を眠らせてやろうという算段です。



ちよつと・・・  
そんなにジロジロ見られてたら  
読書に集中出来ないのだけど・・・？

んんっ！

は、はひっ!?  
すすす、すみませんっ・・・!

んんっ!

んっ!

まずい、見すぎた・・・!  
飲んだのは確認したし、裏で本の整理でもして  
効果が出るのを待つか・・・



一時間後、様子を見に戻ってみるとパチュリー様はぐっすりお休みになっていました。効果は抜群だなあ……まさかパチュリー様も自分の図書館の本の知識で眠らされるなんて思ってもいなかったろうな。

寝顔は本当に可愛いなあ……  
普段もこういう柔らかい表情でいた方が  
絶対いいと思うんだけど……  
本人に直接は言えないなあ

それにしても……  
大きなおっぱいだなあ……！  
背もたれに体を預けてるからおっぱいが突っ張ってぱっんぱっんだ

ぽっん

ぽっん

すっ……

すっ……

さあ、パチュリー様。そんな姿勢で寝てるからお胸が  
苦しそうですよ...今脱がして差し上げますからね...♪  
おっ...パンツはシンプルな白地の奴ですね。  
胸は...のノーブラだ...!!

すり...

むん...

ぬ...

あ、あれっ...?  
乳首が引っかかって  
上手く脱がせない...

無理に引っ張って乳首が擦れる感触で起きたら  
いけないから慎重に...









失礼します…  
ふああ…  
やわらかーい…  
マシユマロみたい…

手で揺らすと  
乳首がプルプル震えて  
エロいなあ…

いきなり本番挿入して僕の証をパチュリー様の体内に  
残してもいいのですけど、ここはやっぱり  
このエロボディを堪能させてもらわないと  
危険を冒して一服盛った甲斐がありませんね♪

ゆっすっ

ゆっすっ

かっかっ

ゆっすっ

ゆっすっ

すっすっ

すっすっ



お腹の肉だけじゃなくて乳首もやる気がないのですね……？  
仕方がない、僕がやる気を出させて差し上げますね……♪

んっ……//こうやって舌で円を描くように乳首に這わせて……舌のザラザラを使ってこそげ落とすように……

んっ  
んっ  
んっ

んっ  
んっ

んっ  
んっ

んっ  
んっ

んっ  
んっ

んっ  
んっ

んっ  
んっ



ふーっ……♪  
ちゅぱっ……♪  
おおっ♪やっ♪と乳首もビンビンに  
なりましたね♪

僕の唾液でコリコリ乳首が  
テラテラと光ってて  
すっごいエッチです……

体はしっかり反応してるみたいだし  
続きは邪魔が入らないように  
パチュリー様の寝室で……♪



さてと、何とか魔法でパチュリー様を寝室まで運び込むことに成功しました。僕みたいなのもやしっ子では魔法の力なしではパチュリー様のようになむっちり女子は運べません。定期的にパチュリー様をオナホにするなら何か策を考えないといけませんね。

たふんっ♡♡

足元から覗くと凄じ眺めだなあ……  
大きなおっぱいで顔が見えないや……  
呼吸に合わせてタプタプ揺れてるのも  
エロい………

たふん♡

もっっ♡

おま○こも陰毛が生い茂ってて  
割れ目が隠れちゃってるよ……

もっもっもっ

くっっ……

○○○○○

○○○○○

もうちよつとだけおっぱいを  
楽しませて下さいね♪  
パチュリー様♪

むにゅゅ

ずんやっ

こーんな大きなおっぱいなんだから  
おち○ちん挟まないと  
勿体ないですよね♪  
んっ……♪やわらかー………



あっ♥あっ♥あっ♥  
パイズリー様のおっぱいま○こっ♥

ふわふわおっぱいが汗でしっとり  
おち○ちんに吸い付いて…♥

僕の先走りで滑りも加わって…  
最高のおち○ぽ扱き器になってますうっ♥

はっ♡  
ハッ♡  
ハッ♡

はっ♡  
ハッ♡  
ハッ♡

ハッ♡

ぽん♡

ぽん♡

いっ♡



射精

ちゅ

ぐわ

ぐわ

ぐわ

ぐわ

ちゅ

ちゅ

ちゅ









僕のおち○ちんじゃ  
喉奥まで届かないけど頬の内側の肉で裏筋を  
擦られる感触とおち○ちんを押し返そうとする舌  
口中に溜まった唾液ローションで  
パチュリー様のお口、完全にち○ちんぽ扱き穴になってる♥

うっくっ…!!  
んっ…♥ふあっ…♥  
パチュリー様のお口っ…♥  
気持ちいいですっ…♥

このままお口の中に  
僕の精子っドクドク出しちゃいますよっ!  
出しちゃいますからねっ!!

かぼっレ

んんん

かぼっレ

かぼっレ

ぶっ

ざっレ

ざっレ

あああああ……♡  
出しちゃった……♡遂にパチュリー様を内側から  
僕の精で汚しちゃった……♡  
んひっ……♡反射的に流れ込んでくる  
精液を嚥下しようとして  
喉がひぐひぐ動いてアクメおま○こみたいっ♡

おっ♡おうっ……♡くうっ……!!  
で、出てるっ……♡パチュリー様の喉ま○こにっ♡  
僕の特濃精液ゼリーぐびゅぐびゅ  
出てりゅっ……♡

僕の栄養満点ゼリー汁ゼリー一杯飲んで  
健康的な体になりましようねっ……!!



さてさて、次はいよいよパチュリー様の一番美味しい部分を  
いただくとしてみましょう♪

さあ、足を広げて……と  
さつきも言ったけど凄く毛の濃さだなあ  
女の子なんですすからもつと身だしなみにも  
気を使わないと……

あ……♡

メーわっ♡  
もメーっ♡  
メーわっ♡

まあ、僕はこれくらい  
だらしない方がイヤらしくて  
好きなんですけどね♪

このもさもさの陰毛の中から  
おま〇こ引っ張り出さないと  
おち〇ちんが  
入れられないや…

お、ここかな？  
あつたあつた…♪  
うわあ…弄ってるうちに  
おま〇こ汁も出てきてる…  
♥

んんっ

んんっ

どちやこ

んんっ

中を拝見致しますよ……  
パチュリー様……♡

おおう……♡  
見事なピンク色です  
読書と魔術以外に興味  
無いですねえ……♡  
なのであまり遊んでない

ビク……

とろ  
ろ……

くぼ  
女……

うわあ……膈内も  
マン汁でぐちよぐちよ  
寝ててもしっかり感  
じてるんですね♡

ん  
ん……  
ん……





うーん：：♥  
こんなにマン汁ローション分泌して  
おち○ちん迎え入れる準備してるなんて  
殊勝な心構えですね♥

これはもう  
僕のおち○ちん、パチュリー様の  
おま○こに入れてもいいって  
サインですよね？ね♥

かろるる

とろっ…

にち

にち

にち

さあて・・・前戯も必要ないくらいに  
おま〇〇こ解れてるし・・・このままパチュリー様のおま〇〇こ、おち〇ちんで味わってしまいましょ♪

もぞもぞ

その蕩け具合・・・  
そのまま放置したらお辛いでしょう  
パチュリー様♥

あなたが寝ている間に  
僕が鎮めて差し上げますからね・・・♥



わっ…♥お腹ふにふに…♥  
下腹のお肉がこっとういう時  
体を掴みやすくもいいですね♥

ぴんぷん

しゅん

ざり

しゅん

ざり

分かりますかパチュリー様♥  
今、勃起ち○ぽがおま○こに  
当たってますよ♥  
擦る度にクチュクチュ音が  
なってエロいですね♥





油断したらさすがに射精しちゃいそうな快感を堪え  
少しでも長くパチュリー様の膈内を味わいたいです  
気を紛らわせるために目の前で暴れる二つの果実に  
しゃぶりつきました。  
体格差があるので思い切りしがみついて  
おっぱいを吸いながら腰を振れます♥

んっ♥んっ…♥  
こうするとまるでパチュリー様が  
僕を気持ちよくさせる為だけに  
設えられたベッドみたいです♥

オナホ機能に授乳機能付きの  
たっぷりした肉付きの  
心地よいベッド♥

あしっ

はっ

はあ…

あしっ



この体勢だとパチュリー様が  
眠りながらも感じてる表情が  
ハッキリ見えていいですね♡  
その表情だけで射精しちゃいそうです♡

んんっ……♡くっ……!!  
そ、そろそろ出ますよ……♡  
パチュリー様の、ご主人様の大事な大事な  
雌の部分に僕の精液、注入  
しちゃいますよっ……!!







うぐぐっ……♡  
精液、止まんないっ……♡  
おち○ぼの脈動に合わせて中の髪が  
絞りあげてくるっ……♡  
パチュリー様もイッてるんだ……♡

くううう……っ♡♡♡  
遂に……遂に自分の主に種付けしちやいました♡  
でも、仕方ないですよね♡パチュリー様のおま○こが  
あまりにも気持ちよかったから……そう、これは  
パチュリー様自身が招いた事態なのです。  
これで仮にパチュリー様が孕んでしまっても  
それは自然の成り行きです♡



今度はお尻を突き出させて…っつと  
後ろからハメハメしたいと思えます。  
この大きなお尻にしがみついて腰を振るのも  
凄く気持ちが良いさそうです♪

ふふふ…♥  
こうするとパチュリー様の  
恥ずかしい所が  
全部丸見えですよ♥

おま○こから  
はみ出るエッチなビラビラも  
淡いピンク色のお尻の穴も…♥

むっちりり

んんん  
んんん

んんん

んんん

…お尻の穴もひくひくしててイヤらしいです…  
今までコッチでした事ないけど…  
この際です…パチュリー様のおち○ぽ入りそうな穴は  
全部使ってやります♥

こっちは自然には濡れないから  
しっかり舐めて解して…っつと

んー…  
舌先も入らないくらい  
抵抗あるけどおち○ちん  
入れられるかなあ…

あわわっ…  
あわわっ…

びゅっ…

ん…  
ん…

れろ…

ほっ…

ぽろっ…

ほっ…

ちゅっ…

それじゃあ：：入れますね♥  
パチュリー様の出す穴に  
僕のおち○ちん入れちゃいますねっ：：♥

パチュリー様のうんち穴  
僕専用の精液便所に  
しちやいますからねっ♥♥

は

は

ん

ん

ごりっ

ぞりっ



うぐぐっ……！  
うっ……♡くうっ……♡  
は、入ってる……♡パチュリー様のお尻の穴に  
僕のおち○ちんめりめりって……♡

あっ……♡はあっ……♡  
す、凄いい締め付けですよ  
パチュリー様っ……♡  
小さな僕のおち○ちんでも入れるのが  
精一杯ですう……♡  
おち○ちんっ食いちぎられるううっ……♡♡♡

ぐくぐくっ  
ぐんっ  
はっ……♡  
はっ……♡

しゃっ  
しゃっ

しゃっ  
しゃっ



こ、これっ……おま○こよりも刺激強くてっ……  
すぐ出ちゃいそうです……♡

こ……ここは焦らず  
一端動きを止めておち○ちんを  
お尻の穴に馴染ませて……  
くっ……動いてなくても腸壁がギュッギュッって  
絞りあげてくるっ……♡

……くっ！  
よ、よし……そろそろ  
動くぞ……っ！

んくっレ

ぞんレ

ぞんレ

ぢゅんレ

ぢゅんレ

ぢゅんレ

ぢゅんレ





も、もうダメですっ  
パチュリー様っ……♡♡  
射精っ……♡我慢できなっ……♡





はー！：：：♡はー！：：：♡  
凄く良かったですよ：：：♡  
パチュリ様の糞穴：：：♡  
金玉の中身、  
全部吸い取られちゃいそうです：：：♡

あっ：：：♡同時におま○こも  
穿って差し上げると更にお尻の穴の  
締まりが増しますね♡♡♡  
新発見です♪



よいしょ……と  
おおい……この眺めはまた凄いですね……  
パチュリー様の喉オナホを味わいながら  
尻穴もおま○こも一望できますよ♥

はなな……

沢山生ハメ交尾して  
おち○ぽにこびり付いた  
僕のザー汁とパチュリー様自身の  
発情まん汁、しっかりお口で  
綺麗にして下さいね♥







あっあっ……♡♡♡パチュリー様の  
喉ま○こ……♡♡♡いいっ……♡♡♡  
射精っ……♡♡♡止まらないですっ……♡♡♡

んひゃっ♡  
僕の注ぎ込んだザー汁が  
お尻から溢れてきてますようっ♡  
まるで噴水みたいですっ♡

パチュリー様が絞った精子なんだから  
しっかり飲んで下さいね……♡  
栄養満点だから  
体も少しは強くなるかも  
しれませんよ♡



ああっ……♡  
はあはあ……♡  
どうしましよっパチュリー様っ……♡  
交尾っ……♡止まりませんっ♡

パチュリー様の性処理穴気持ちよすぎて  
腰が勝手に動いちゃいますっ……♡  
このままじゃ本当にパチュリー様  
孕ませちゃうかもっ！しれません……！

ん……♡  
ん……♡  
ん……♡  
ん……♡  
ん……♡  
ん……♡  
ん……♡  
ん……♡

はあっ♡  
はあっ♡

とっ♡  
とっ♡

とっ♡  
とっ♡

とっ♡  
とっ♡

うぐっ……!  
ま、また出ちゃいました……♡  
はあ……はあ……あっ……ぐっ……♡

女……

ムムムム  
ムムムム

はあ……♡

はあ……♡

パチュリー様の子宮に  
どぷどぷ僕の子種が注がれてるの  
夢の中で感じてくださいな♡  
えへへ……♡

もしもしっ

はあ……♡

女……

ムムムム

ムムムム



ま……っ♥まだ出るうっ……♥  
僕のおち○ちんっ……♥精子止まらないっ……  
パチュリー様になら……いくらだっ……♥

だからっ……♥  
パチュリー様も……  
僕の精子っ♥その子宮でしっかり  
飲み干してっ……♥♥♥

あ……  
か……は……  
キ……  
び……





はあっ……!はあっ……!  
あはっ……!凄いですよパチュリー様  
もう僕たちの下半身  
ザー汁でぐちよぐちよ♡

あま……♡  
あま……♡

パチュリー様のお腹、妊婦さんみたいに  
膨れちゃいましたね……♡  
この中に僕の子種が詰まってると思うと……♡  
ああ……♡またおち○ちん勃起して  
きちやいました♡♡♡

ががレ  
ががレ

ががレ

ビクン!

ほ……♡

う……♡

ん……♡

パチュリー様を犯し始めて数時間が経ちました……  
最早何回パチュリー様の膈内に射精したか分かりません。  
僕とパチュリー様の体の相性は抜群でパチュリー様の  
肉穴は僕のおち○ちんをハメる為に存在しているかの  
ようです。

たっかんっ

はあ

はあ

ふうっ……ふうっ……!  
パチュリー様を上にとすると  
流石に重いなあ……  
こんな事聞こえてたら  
一瞬で灰にされちゃいそうだけど

たっかんっ

やっかん

ぬっかん

でも肉布団みたいで  
温かくて柔らかくて気持ちいいなあ……♡

ふんっ……！ふんんっ……！  
はあっ……！大好き……！パチュユリー……  
今は……今だけは僕の……  
僕だけのモノだった……！



そのだらしない爆乳  
そんな振って……  
また種付けして欲しくて  
しょうがないんだね！  
お望み通りあげるねパチュユリー……  
注ぎ込んであげるねパチュユリー……



あつあつ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ



ふー……っ♡ふー……♡  
孕め……♡孕めえ……♡  
パチュリー……♡パチュリー……♡  
頭張れえ僕の精子……♡  
の卵子に届けっ♡♡♡♡♡

あっ……♡  
母乳出てきてる……♡  
これはひよっとして孕んだかも  
しれないですね……♡  
元気に育ってね……♡



パチュリー様を眠らせて好き放題した狂乱の宴から  
数か月、ばっちり着床していたようでパチュリー様のお腹は  
日に日に大きくなっていききました。  
自身の変化に疑問を抱いているパチュリー様ですが  
未だ僕の仕業とはバレていないようです……  
ちなみに帰って来た小悪魔さんは  
特に何を言うわけでもありませんが、  
時たま僕の顔を見てニヤニヤしています。  
ああ……

何だか最近お腹が張ってる  
気がするわ……  
それに……これは母乳……？  
何かの病気かしら……？  
あなた、何か知らない？

さ、さあ……  
僕にはさっぱり……

んー……竹林の薬師にでも  
診てもらおうかしら……

もはやこれまで。  
皆さんは望まぬ妊娠をしない、させないよう  
しっかりと避妊しましょうね☆  
おしまい